

# 鋼 船 規 則

## 鋼 船 規 則 檢 査 要 領

D 編

機 関

鋼船規則 D 編  
鋼船規則検査要領 D 編

2013 年 第 1 回 一部改正  
2013 年 第 2 回 一部改正

2013 年 12 月 27 日 規則 第 77 号／達 第 65 号

2013 年 7 月 29 日 技術委員会 審議

2013 年 9 月 24 日 理事会 承認

2013 年 12 月 25 日 国土交通大臣 認可

**ClassNK**  
一般財団法人 日本海事協会

# 鋼船規則

D 編 機関

規則

## 2013 年 第 1 回 一部改正

2013 年 12 月 27 日 規則 第 77 号

2013 年 7 月 29 日 技術委員会 審議

2013 年 9 月 24 日 理事会 承認

2013 年 12 月 25 日 国土交通大臣 認可

「鋼船規則」の一部を次のように改正する。

## D 編 機関

### 14 章 タンカーの管装置

#### 14.2 貨物油ポンプ、貨物油管装置、貨物油タンク内配管等

14.2.2 を次のように改める。

##### 14.2.2 貨物油管装置の配管一般

- 1. 貨物油管は、本会が必要と認める場合を除き、3 類管とする。
- 2. 各貨物油タンクには、1 台の貨物油ポンプが停止した場合でも揚荷を支障なく行えるように配置された吸引管を設けなければならない。
- 3. 貨物油管は、貨物油ポンプを経由することなく貨物油を積載できるように配管しなければならない。また、貨物油積込み管を甲板上から直接タンクに導く場合には、静電気の発生による事故を防止するために当該積込み管の開口端をできる限り下方に導かなければならない。
- 4. 船外から海水を吸引するバラスト管が貨物油管に接続される場合には、海水吸入弁と貨物油管との間に止め弁を設けなければならない。
- 5. 貨物油管にスリップオンジョイントを使用する場合には、**12.3.3** の規定によらなければならない。
- 6. バラスト専用タンク用の海水吸引管及び排出管は、貨物油タンクの海水吸引管及び排出管に連結してはならない。
- 7. ~~独立型貨物油タンクは、船体に電氣的に接地しなければならない。またすべての貨物油タンク及び貨物管装置（貨物油管、ベント管、タンク洗浄管等）は、溶接若しくはボルト締めによる金属接触又はストラップ等の適切な方法によって電氣的に連続させ、かつ、船体に接地しなければならない。~~
- 8. 前-7.に規定するストラップは、次の(1)から(3)の規定に従ったものでなければならない。
  - (1) 不良個所を目視によって明確に判別できること。
  - (2) 機械的損傷から保護され、腐食性製品又は塗料による導電性への影響を避けるよう設計及び配置されていること。
  - (3) 設置又は交換が容易にできること。

## 附 則

1. この規則は、2014 年 1 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約\*が行われた船舶にあっては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。

\*建造契約とは、最新版の IACS Procedural Requirement(PR) No.29 に定義されたものをいう。

### IACS PR No. 29 (Rev. 0, July 2009)

#### 英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
  - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
  - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

#### Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

#### 仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
  - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
  - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから 1 年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

#### 備考：

本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。

---

# 鋼船規則検査要領

D 編

機関

要  
領

2013 年 第 2 回 一部改正

2013 年 12 月 27 日 達 第 65 号

2013 年 7 月 29 日 技術委員会 審議

2013 年 12 月 27 日 達 第 65 号  
鋼船規則検査要領の一部を改正する達

「鋼船規則検査要領」の一部を次のように改正する。

## D 編 機関

### D14 タンカーの管装置

#### D14.2 貨物油ポンプ，貨物油管装置，貨物油タンク内配管等

D14.2.2 を次のように改める。

##### D14.2.2 貨物油管装置の配管一般

- 1. 規則 D 編 14.2.2-7.にいう「すべての貨物油タンク及び貨物管装置」には，次の(1)から(4)に掲げるタンク及び貨物管装置を含む。
- (1) 貨物油管，ベント管，タンク洗淨管等
  - (2) 電氣的連続性が確保されていないタンク（例えば独立型貨物油タンク）
  - (3) 取外し可能な配管接合部（例えばスプールピース）
  - (4) 非導電性のガスケット又はシールを有するウェハー形の弁
- 2. 規則 D 編 14.2.2-7.の規定の適用上，電氣的接地は，規則 H 編 2.1.4 の規定を準用したものとし，かつ，1MΩ以下の接地抵抗値が確保されるものであること。

## 附 則

1. この達は、2014年1月1日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約\*が行われた船舶にあっては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。

\*建造契約とは、最新版の IACS Procedural Requirement(PR) No.29 に定義されたものをいう。

### IACS PR No. 29 (Rev. 0, July 2009)

#### 英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
  - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
  - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

#### Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

#### 仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
  - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
  - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

#### 備考：

本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。